

## 「地域住民生活等緊急支援のための交付金」活用事業の実施結果について

### 1 横浜プラチナメニュー販売事業（予算額 44,000 千円）

#### (1) 事業目的

普段体験できない特別な時間を横浜で過ごしていただくため、民間事業者と連携して創出した体験メニューを特別価格で提供し、市内の観光需要を喚起、及び市内経済の活性化を促進。

#### (2) 事業概要

- ・販売期間：平成 27 年 8 月 1 日（土）～平成 28 年 2 月 29 日（月）
- ・旅行商品内容：ヘリコプター体験やクルーズ・食事・市内観光の組み合わせ  
ダンスや音楽の鑑賞・食事・市内観光の組み合わせ  
ホテルや中華街でのグルメプラン など 32 メニュー
- ・助成率(割引率)：本来価格の 4 割
- ・販売価格：6,800 円～170,000 円（税込）
- ・ターゲット：首都圏在住の 50 代～60 代のシニア層、及び 30 代～40 代の女性
- ・販売方法：WEB、電話、旅行会社店頭での販売

**YOKOHAMA PLATINUM MENU**  
横浜プラチナメニュー

～横浜しかできない、今しか体験できない特別な一日を横浜で～ 横浜市が日帰りツアーを **40% 助成**

ふると 割

・本旅行は、横浜市が国の地域住民生活等緊急支援のための交付金を活用し、旅行代金の一部を助成しています。  
・助成額は税法の旅行代金全体より40%の代金で、各商品に記載されており、(表記の旅行代金は助成後の金額となります)旅行当日にアンケートのご記入をいただきます。

よくある質問

お申込み・お問い合わせはこちら ☎ 0570-039-639 [ 営業時間 9:00～18:00 (年末年始除く年中無休) ]

クルーズツアー    グルメプラン    体験プラン    バスツアー    街散策

【WEB】

【販売メニューを掲載した冊子、パンフレット】

2015年 夏臨時保存版  
始めるよ 横浜プラチナメニュー  
ほける倶楽部  
楽しい! 美味しい! うれしい!  
夏の日帰り遊び満載  
全64コース

**YOKOHAMA PLATINUM MENU** 赤い風船  
横浜プラチナメニュー  
2015.8/1 2015.2/29

40% 割引

最新の企画で! 横浜中華街をドライブ **6,800円**

横浜イザルパークホテルが誇る「上ご馳走」の 3つのスワン・メイトが楽しめる **10,200円**

横浜 入船フェスティバル、横浜イザルパークホテル **6,800円**

### (3) 販売実績

- 販売件数：約 7,700 件 市内：市外＝ 1 割： 9 割
- 販売実績（助成額相当）：約 32,000 千円（目標達成）
- 販売総額：約 54,000 千円（目標達成）
- 予算執行率：100%
- 販売件数上位 3 メニュー

	メニュー名	販売価格	販売件数
1	ヘリコプター体験&横浜人気スポット7景めぐりバスツアー	6,800 円	2,262 件
2	クルーズ&北京ダック専門店昼食、横浜 8 景観光	6,800 円	1,309 件
3	横浜中華街名店チョイスプラン	6,800 円	590 件



【ヘリコプター体験】



【北京ダック専門店（t v k 『ハマナビ』取材）】



【中華街名店チョイスプラン】



【消防出初式見学ツアー】

## 2 横浜ブランド制作・発信拠点事業（予算額 45,000 千円）

### (1) 事業目的

横浜のおみやげブランドである「ヨコハマ・グッズ 『横濱001』」の更なるブランドの向上と認知度の向上を図るため、プロモーションや交通拠点である羽田空港への出展を行い、横浜ブランドを発信。

### (2) 事業概要

「ヨコハマ・グッズ 『横濱001』」の中から、おみやげ購買意欲の高い女性をターゲットとした商品をセレクトし、「ヨコハマハイカラレーベル」として展開。市内外でのプロモーションや羽田空港への出展及びPRイベントを実施。

### (3) 実施状況

#### ア 市内外でのプロモーション

「ヨコハマハイカラレーベル」の認知・親近感獲得、また販売促進を目的としたプロモーションを、駅や交通広告、WEB、SNS、雑誌等を活用し、特にプレゼントや帰省みやげ需要が増加する12月を中心に実施。

種別	内容
駅広告	MM線横浜駅大型ポスター、みなとみらい駅デジタルサイネージ、羽田空港国内線第1ターミナル地下1階ポスター ほか
交通広告	JR線・東急東横線 窓上ポスター、京浜急行線中吊広告ほか
WEB	おでかけ情報サイトやキュレーションサイトへの記事掲載
SNS	「横濱001」公式フェイスブック、インスタグラムによる情報発信ほか
雑誌	フリーペーパー「シティリビング」や横浜ウォーカーへの特集掲載
市広報	「広報よこはま市版（12月号）」表紙・記事掲載ほか



【みなとみらい線横浜駅大型ポスター】



【京急線中吊広告】

## イ 羽田空港への出展及びPRイベント

横浜ブランドの発信拠点として、羽田空港国内線第1ターミナル地下1階に、「ヨコハマハイカラレーベル」の期間限定ショップを開設。

また、横浜みやげと羽田空港ショップのPRのため、「ヨコハマハイカラレーベル」商品を中心とした販売イベントを実施。

### <ショップ概要>

- ・営業期間：平成27年10月21日（水）～平成28年2月29日（月）  
（延べ132日間・期間中無休）
- ・営業時間：午前10時～午後7時
- ・販売商品：「ヨコハマハイカラレーベル」10商品を中心とした横浜みやげ商品



【羽田空港ショップ外観】



【羽田空港ショップ内観】

### <PRイベント開催概要>

- ・開催日時：平成28年2月6日（土）、7日（日） 両日とも午前11時～午後5時
- ・開催場所：羽田空港国内線第1ターミナル2階（出発ロビー階）
- ・内 容：横浜みやげの販売や抽選会、キャラクターによるイベント等



【物販コーナーの様子】



【キャラクターによるイベントの様子】

### <実績（延べ132日間）>

売上金額（税抜）		売上個数		来店客数	
期間合計	1日平均	期間合計	1日平均	期間合計	1日平均
6,057千円	46千円	7,327個	56個	13,975人	106人

### 3 クリエイティブ・ショーケース事業（予算額 30,000 千円）

#### （1）事業目的

市内に集積したアーティスト・クリエイターと市内中小企業等によるビジネス機会創出のきっかけをつくとともに、創造的産業振興の取組の認知度向上を図るため、イベント「クリエイティブ・ウィーク」及び常設展示「クリエイティブ・ショールーム」を実施。

#### （2）事業概要

##### ア クリエイティブ・ウィーク（イベント）

- ・YCC ヨコハマ創造都市センター 内に設置したモデルルームに、市内中小企業の技術力とクリエイターの創造性をかけあわせた試作品などを展示
- ・企業とクリエイターの交流を促すワークショップ・セミナーを実施

##### イ クリエイティブ・ショールーム（常設展示）

- ・創造的産業振興モデル事業の成果物等を展示

#### （3）実施状況

##### ア クリエイティブ・ウィーク（イベント）

市内中小企業4社とクリエイター3組のコラボレーションによる試作品製作・展示や、ワークショップ等のイベントを3回開催。

多くの交流が生まれ、新たなコラボレーションにつながるとともに、関心を持った企業・クリエイターに創造的産業振興モデル事業「texi（テクシ）」への参画を呼びかけ。

##### <開催概要>

- ・開催期間：平成27年11月4日（水）～8日（日）
- ・開催場所：YCC ヨコハマ創造都市センター
- ・来場者数：延べ900人



【試作品の展示】



【イベントの様子】

## イ クリエイティブ・ショールーム（常設展示）

創造的産業振興モデル事業「texi（テクシ）」で開発した商品を中心に、企業とクリエイターが結びついた成功事例を常設で展示。

### <展示概要>

- ・展示期間：平成27年12月11日（金）～平成28年3月31日（木）
- ・展示場所：YCC 横浜創造都市センター



【展示の様子①】

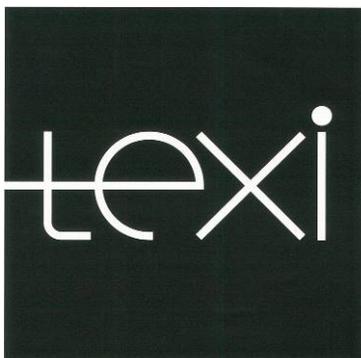


【展示の様子②】

### 【参考：創造的産業振興モデル事業「texi（テクシ）」について】

高い技術力を有する市内中小企業とクリエイターのコラボレーションをコーディネートし、ビジネスプランの提案から、商品開発のアドバイス、販路開拓の機会提供まで一貫してサポート。

この仕組みそのものと、コラボレーションにより開発した商品群を、「texi（テクシ）」という地域ブランドとし、国際見本市に出展するなど広く発信。



【「texi」のロゴマーク】  
(technique × idea)



【国際見本市「アンビエンテ」出展の様子】

## 地域住民生活等緊急支援のための交付金概要とは

### (1) 経過

ア まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成 26 年 12 月 27 日閣議決定）

- ・「しごと」と「ひと」の好循環づくり
- ・好循環を支える、まちの活性化

イ 地域住民生活等緊急支援のための交付金創設（平成 26 年 12 月 27 日緊急経済対策閣議決定）

- ・地域の消費喚起など景気の脆弱な部分にスピード感を持って対応すること
- ・仕事づくりなど地方が直面する構造的な課題への実効ある取組による地方活性化

### (2) 交付金の概要

	地域消費喚起・生活支援型	地方創生先行型
趣 旨	地域における消費喚起やこれに直接効果を有する生活支援に要する費用に対して交付	地方版総合戦略の策定や事業の実施に要する経費に対して交付
交付対象者	都道府県及び市町村	26 年度中に地方版総合戦略を策定又は策定に着手する予定の都道府県及び市町村
金 額	総額 2,500 億円 (本市交付限度額 23.74 億円)	総額 1,700 億円 (本市交付限度額 1.96 億円)